

平和がいいな昭和区の会

ひまわり

～沖縄は忘れない あの日の空を～
自主上映会のお知らせ

2023年

日時：11月23日(木・祝)

13:50～(開場13:20)

16:10終了予定

場所：名古屋市公会堂

4Fホール(鶴舞公園内)

入場料：1,000円

主催：平和がいいな昭和区の会

<https://peace-showa.nagoya/>
(Tel)052-853-3825(池内福祉会内)

沖縄のリアルを語るゲストのトークも計画中です。お楽しみに！



詳しくはこちら→



ジェット機戦闘機は炎上しながら校舎へ激突した!

一瞬に奪われた命、今、あきらかになる宮森の悲劇。
「ひまわり」を愛する幼い少年の夢も、少女の未来も、一瞬のうちに奪われてしまった・・・

1959年6月、沖縄・宮森小学校に米軍ジェット機が炎上墜落し、学童11名、近隣住民6名が犠牲となった大惨事を題材とする壮大な人間ドラマを映画化!
基地あるかぎり、沖縄の悲しみは終わらない。



映画
「ひまわり」を
応援して
います



沖縄の方達が本当の笑顔を取り戻すまで、
私たちはしっかりとサポートしなければなりません。
「ひまわり」の製作に期待しています。

賛同者 吉永小百合さん(女優)

呼びかけ人



鳥越俊太郎氏

池辺晋一郎氏

佐々木愛さん

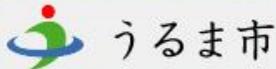
小森陽一氏

呼びかけ人のメッセージ >>

賛同者

安齋育郎氏、池澤夏樹氏、西山太吉氏、海老名香葉子さん、中沢啓治氏、伊藤真氏、益川敏英氏、中村梧郎氏、伊藤千尋氏、井上麻矢さん、早乙女勝元氏、三上満氏、神田香織さん、石川文洋氏(順不同)

企画・製作/桂壮三郎 監督/及川善弘 原案/「石川・宮森ジェット機墜落事故証言集(石川・宮森630会編)」
脚本/大城貞俊、山田耕大 脚本協力/宜野座由子 製作/本村初枝 プロデューサー/森田勝政
撮影監督/前田米造(J.S.C) 撮影/岩崎登 照明/赤津淳一 録音/北村峰晴 編集/奥原好幸 助監督/中里洋一
美術/春木章 音楽/山谷知明 視覚効果/田口清隆 スクリプター/堀北昌子
キャストイングプロデューサー/松永琴 協力プロデューサー/山本洋 宜野座映子
映画「ひまわり」製作委員会/ゴーゴービジュアル企画 沖縄県映画センター
主題歌/「ひまわり」 Civilian Skunk (アマディア/ポニーキャニオン) ノベライゼーション/ひろはたえりこ(汐文社 刊)
配給/映画センター全国連絡会議 ゴーゴービジュアル企画 宣伝/トラヴィス 制作協力/青銅プロダクション
製作支援/映画「ひまわり」を成功させる沖縄県民の会 映画センター全国連絡会議 大阪教映社 中国共同映画
©2012年 映画「ひまわり」製作委員会



石川・宮森六三〇会



2012映画『ひまわり～沖縄は忘れない あの日の空を～』製作委員会

平和がいいな 昭和三〇の会

詳しくはこちら→



宮森事件とは About

事故の概要

1959年6月30日午前10時40分頃、米軍のジェット戦闘機が石川市6区5期・8組に墜落し、その衝撃で煙が上がり、付近の家々を引き連ねるようになりながら北西の方向約150m先の宮森小学校のコンクリート校舎6年3組2階の柱(ひさし)に衝突、2階のエンジンの一部が校舎の中に入りました。燃焼が激しく燃焼するまで、6区5期・8組の家々とする隣の2年生のトランシーボ校舎3教室は燃焼が止まらされた大層のジェット燃料で激しく炎上しました。
この事故で18名(内後述通り1人)の尊い命を奪い、多数の重軽傷者を出し、そして数千人の心に傷を負った大惨事となりました。



6区5期に墜落した米軍のジェット機は、その衝撃で煙が上がり、宮森小学校に衝突した。「昭和30年6月29日」

ジェット機の墜落コース 宮森小学校1959年6月頃の配置図(以下左:図ともして左:宮森630会編「沖縄の空の下」より転載)



罹災の瓦が吹き飛ばされた4年1組とエンジンが飛び込んだ3組の教室 写真提供:キーストーンスタジオ



1959年6月30日事故当日、米軍人で埋められ、生徒を排除した。すまじく作製した6区5期の墜落現場 写真提供:伊波 玄氏

被害の状況

